



# News Letter



第15号

## 大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006 松下電器産業内 Tel: 06-6908-5622, Fax: 06-6906-1794  
http://www.jaso-1946.com E-mail: jaso@gg.jp.panasonic.com

### 会長就任のご挨拶

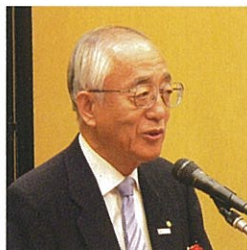


大阪日米協会  
会長 松下 正幸

このたび竹中前会長の後任として、大阪日米協会の会長を拝命いたしました。歴史ある当協会の運営を担うこととなり、その責任の重大さに身の引き締まる思いがいたします。ご存知の通り、当協会は1946年、「日米両国民の親睦と相互理解をはかり、文化の交流に寄与すること」を目的に設立され、この60年にわたる長い歴史の中で、アメリカ総領事館のご支援を賜りながら、様々なイベントが開催されてまいりました。これらの活動を通し、ビジネス・文化両面において、日米間の良好な関係構築に大いに貢献されてきたと認識しております。特に本年は、大阪市とサンフランシスコ市の姉妹都市提携50周年という意義深い年を迎え、既に多様なイベントが両市で開催されておりますし、国際経済における日米関係が、今後とも重要であることは明らかであります。当協会は、両国友好の架け橋として、協会設立の目的を今一度思い起こし、真の友好を目指した運営を行う所存でございます。諸先輩方の築いてこられた歴史と伝統を受け継ぎ、会員の皆様のご期待に添えるよう、最善の努力をさせて頂くつもりでございますので、倍旧のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 2007年度 総会開催

7月20日、リーガロイヤルホテルで理事会・総会・懇親会を開催しました。理事会・総会では、2006年度の行事・収支決算報告に続いて、理事・役員の改選、2007年度の行事・収支計画が審議・承認されました。竹中統一前会長は名誉会員に、松下正幸氏が新会長に選出されました。会員の皆様には、決議書をお送りしております。懇親会では、松下新会長、ラッセル総領事、関大阪市長よりご挨拶を、天江大使より乾杯の音頭を頂きました。ピアノトリオ「アリエッタ」の方々による演奏が場を盛り上げ、楽しいひと時となりました。



### 大阪日米協会 役員・理事

#### 会長

松下 正幸

#### 第一副会長

江崎 勝久

#### 副会長

ジュリアン F. パート

アイダ・ヘッケンバック

鳥井 信吾

#### 監事

高木 将雄

宮本 寛爾

#### 幹事

福永 勝也

#### 理事

古市 尚 大林 剛郎

幡掛 大輔 佐伯 尚孝

細川 益男 刺賀 信雄

池田 弘一 千 玄室

稲畑 勝雄 芝野 博文

井上 礼之 柴田 稔

伊藤 英吉 柴田 俊治

出馬 迪男 武田 國男

上川 裕秀 竹中 統一

川上 哲郎 田嶋 英雄

北村 寛治 辰馬 健仁

鴻池 一季 佃 孝之

森 輝彦 上山 英介

村上 仁志 錢高 一善

西村 貞一

### ●●● 今後のイベント ●●●

2007年 10月27日(土)

秋の日帰り旅行  
～生野銀山・丹波篠山～

2007年 11月15日(木)

感謝祭パーティ  
場所: ニューヨークワン(京橋)



### 事務局移転のお知らせ

大阪日米協会の事務局が次の通り変更になりました

新事務局 〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006 松下電器産業内

T E L : 06-6908-5622

F A X : 06-6906-1794

E - m a i l : jaso@gg.jp.panasonic.com

事務局長 : 楠本 政幸

事務局次長 : 重松 澄広

アドミニストレーター : 高山 早苗



## 神戸日米協会の催しに参加して

去る5月9日のバレンタイン監督昼食講演会に、神戸と京都の日米協会からご参加を頂戴しました。それを受けて、神戸日米協会から5月12日の“神戸まつりU.S. Army Band THANK YOU PARTY”にお声をかけていただき、当協会から現事務局の重松さんと当時の事務局の須賀が参加して参りました。神戸日米協会では、例年米軍座間キャンプのアーミー・バンドを呼んで、神戸まつりのパレードに参加されるそうで、バンドの方を慰労するためのパーティを開催されたということです。凛々しい制服姿のバンドの方や、協会のメンバーさんなど総勢90名を超える方々が神戸外国倶楽部に集い、キラン・セティ会長のご挨拶で始まりました。セティ氏が会長にご就任された後、若手中心の活動になっているとのこと、パーティの司会は神戸青年会議所のメンバーによって行なわれるなど、大阪日米協会とはまた違った趣がありました。パーティはバンドの選り抜き6名の方々によるジャズの演奏でクライマックスを迎え、ラッセル総領事のお言葉でお開きとなりました。これを機に、日米協会同士の交流が盛んになれば嬉しいと思っています。(須賀順子/前事務局)



左から  
神戸日米協会事務局 野村さん  
アーミーバンド隊長 Gilliesさん  
在日米陸軍 早川さん

## 会員便り



ロバート・H・エルドリッジさん  
(川西市)

去る6月、元総理大臣の宮澤喜一氏が87歳で亡くなりました。今年の初め、私は宮澤先生の回想録の翻訳版を刊行する機会を頂きました。ご承知の通り、宮澤先生は1991年から1993年まで首相を務められました。その回想録である『東京-ワシントンの密談』は、彼の若い頃についてであるため「Secret Talks between Tokyo and Washington」という英訳の副題に「The Memoirs of Miyazawa Kiichi, 1949-1954」をつけました。出版社は、ワシントンDCの郊外にあり、近代日本シリーズを刊行しているLexington Booksです。翻訳作業をはじめ、その調査やインタビューを通じて、私は宮澤先生の人生とお仕事について深い感謝と尊敬を持つようになりました。宮澤先生の日米関係との出会いは、1930年代末、米国西海岸で開催された日米学生会議から始まり、その会議は現在も続いています。彼の見識のある決断やバランスの取れた見方などは、外務大臣などの仕事に生かされました。真の意味でのステーツマンと言えるでしょう。我々は、宮澤先生のような人に日米関係について指導していただいたことに深く感謝すべきです。大阪日米協会の会員の皆さんも、日米関係の深化と拡大に努力されていることと思います。今後とも、協会のイベントなどで皆様にお会いできるのを楽しみにしております。



猪俣 和子さん  
(大阪市)

夢をかなえてもらった日米協会  
大阪日米協会のパーティに初めて参加したのは、15年前、ハワイ日米協会の会員の方々が大阪に来られた時でした。その時、ハワイの会員の本田邦夫さん、タツコ・ヒノさんと5分ほど話をしたのを覚えていてくださり、3ヵ月後「ハワイ大学で、七宝を教えに来ませんか?」と、突然、お電話をいただきました。それ以来、お二人の支援もあって、毎年、年2回、教えるに行くようになりました。若い時から英語を話す事が好きで、その方面で仕事したいと望んでいましたが、なぜか、七宝作家として日々を送るようになり、40年以上になります。「英語と七宝、二つの事を続けていたら、いつか将来、一つになるかもしれないよ」と、アドバイスをしてくれた友人の言葉が現実になりました。日本の七宝が、国内より海外で評価が高いのも、ハワイに行き知りました。平成17年には、新年のパーティで、ハワイ往復航空券が当たり、弟夫婦にプレゼントしました。それをきっかけに、弟夫婦は年に1~2回、海外旅行に出かけるようになりました。私にとって、日米協会は異次元の世界から、ある日突然、良いことがポーンと目の前に投げ込まれてくる“窓”のようなものなのです。

## 関西日米婦人会チャリティー・ラッフル&amp;ビンゴ

リズムカルなコーラーの声に一喜一憂しながら、ビンゴカードを見つめる人々の表情は真剣です。目の前には、初夏の花々の鉢植えやお洒落なお菓子など、魅力的な賞品が所狭しと並べられています。「ビンゴ!」と叫んで賞品を手にするまでの、スリルに満ちたひと時に賭けて、会場は熱気に包まれていました。ビンゴの後には、ラッフルの抽選が待っています。大阪日米協会の全面的なご尽力で作られた4,000枚のラッフル券は完売いたしました。ニューヨーク往復の航空券をはじめ、ため息の出そうな賞品が参加者の心を惹きつけます。5月18日、神戸ポートピアホテルの一室に集った関西日米婦人会のメンバーとゲスト約300人は、30周年を迎えるラッフル・ビンゴの会を童心に戻って楽しみました。この行事は、関西日米婦人会の最大の募金活動です。1977年に大阪日米協会から独立して会を創設して以来、大阪日米協会は私どもの最も力強いサポーターです。また、関西を中心とする企業や個人の方々のご支援も得て、会は無事30周年を迎え、これまでの奨学金と福祉施設、災害地への寄付の総計が1億円を越えました。楽しみながらチャリティーに貢献するというラッフル・ビンゴの種子を大阪日米協会婦人部から頂いて30年、この活動が見事に開花したとの深い感慨を覚えました。(進藤節子さん/関西日米婦人会)



## 地域の芸術文化の振興をめざして

NPO法人地域創造政策研究センターは、地域の豊かな未来を創造することを目標に活動しているシンク・アクション・タンクです。5年前、ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル(NYSE)と出会い、奈良の地元合唱団とメトロポリタンオペラの奏者を中心とするアンサンブルとのコラボレーションに取り組むことになりました。初年度は「まっぴりならまち少年少女合唱団」との共演を企画し、参加した子供たちからは「一生の宝物が出来た」など色紙一杯の寄せ書きを贈ってくれました。これが契機となって、平成15年以来、毎夏、NYSEと奈良の合唱団とのコラボレーションに取り組んできました。今年は斑鳩町制60周年を記念して、7月18日、いかるがホールでヴィヴァルディの「グローリア」を演奏。また、万来の拍手に応じて、この演奏会のために特別に編曲された「千の風になって」を演奏して、今年のコンサートの幕を閉じました。NYSEと合唱団のコラボレーションが、灯花会、巴さら祭りと共に真夏の奈良の3大イベントとして定着してきたこと、また合唱団の運営には多くのボランティアのご協力を頂き、地域の連帯感が深まりつつあることは望外の喜びです。(成田欽史郎/地域創造政策研究センター)



竹細工による灯りの芸術で  
おもてなし



## 会長のひとりごと

2007年7月から2年間、大阪日米協会の会長を務めることになりました。初めての「会長のひとりごと」ですので、米国と私の縁について述べたいと思います。私は1968~72年と1976~78年の2回、滞米生活を送りました。ペンシルバニア大学ウォートンスクール大学院留学で1年、松下電器海外研修生として2年、米国の3M社で1年、米国松下電器での勤務を2年、計6年の米国生活でした。その間、ニューヨーク、フィラデルフィア、シカゴ、ミネアポリス、オルバーニー、リッチモンド、ニュージャージーと7ヵ所に移り住み、運転免許証も4州で取得しました。独身という身軽な立場を利用して、休暇は100%各地への旅行にあて、全米50州を車で駆け巡って、青春を謳歌したのも楽しい思い出です。1ドル360円時代だったので、経済的には決して豊かな生活ではなかったのですが、多感な青年時代を活力あふれる米国で過ごしたことは、その後の私の人生に大きな影響を与えたと思います。青春時代を過ごし、お世話になった国に少しでも恩返しできればと、当協会のお役をお受けいたしました。皆様のご協力を頂いて、これから2年間、大阪と米国の友好にいきさかなりともお役に立てればと願っています。



## ◆新入会員紹介◆

## 法人会員

株式会社朝日興産  
株式会社朝日工業社 大阪支社  
文化シャッター株式会社  
朝陽電気株式会社  
株式会社大広  
株式会社兵庫機工  
株式会社日鋼サッシュ製作所 大阪営業所  
栗原工業株式会社 大阪本店  
松下電工株式会社  
日ポリ化工株式会社  
日新電機株式会社

株式会社鬼工房  
三機工業株式会社 関西支店  
三宝電機株式会社  
三和シャッター工業株式会社  
新晃工業株式会社  
新菱冷熱工業株式会社 大阪支社  
トステムシャッター株式会社 関西支店  
トステム鈴木シャッター株式会社 大阪支店  
ヤンマーエネルギーシステム株式会社 大阪支店  
YKK AP株式会社

## 個人会員

小林 厚 (大阪市) 貞荊 達広 (伊丹市) 横山 徹 (芦屋市)  
松尾 栄介 (泉佐野市) 藪下 功 (大阪市) 吉田 省吾 (大阪市)  
松岡 末里子 (芦屋市) 山下 次郎 (奈良市)

## 編集後記

7月20日の総会より、事務局が交代となりました。今号も前事務局の多大なご協力を頂き、発行に至りました。この場を借りて御礼申し上げます。事務局交代後初のイベントである「なにわ淀川花火大会」には多くの方からご申し込みを頂き、ありがとうございました。今後も、様々なイベントを企画しておりますので、皆様、奮ってご参加ください。皆様に喜んで頂けるよう、精一杯努力いたしますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い致します。(事務局)

(敬称略)





# News Letter



Vol.15

## 大阪日米協会/JAPAN-AMERICA SOCIETY OF OSAKA

1006 Kadoma, Osaka, 〒571-8501, Japan Tel: 06-6908-5622, Fax: 06-6906-1794  
http://www.jaso-1946.com E-mail: jaso@gg.jp.panasonic.com

### President's Message



Masayuki Matsushita  
President of JASO

It is a great honor for me to have been appointed President of the Japan-America Society of Osaka to succeed Mr. Takenaka. I am humbled by the great responsibility given me to lead this time-honored society. As you may know, JASO was established in 1946, in an attempt to "promote friendship, mutual understanding and cultural exchanges between the peoples of Japan and the United States". During the more than 60 years since its founding, the Society has undertaken a variety of activities with the support of the U.S. Consulate General. I believe that through these activities, the Society has greatly contributed to the building of friendly relations between our two nations in both the business and cultural arenas. Marking the 50th anniversary of the Osaka-San Francisco sister-city relationship, various events commemorating this significant year have already been held in both cities. There is no doubt that between the United States and Japan relations are becoming ever more important in the international community. Aiming to foster true friendship following the Society's founding spirit, I hope to do my best to make the Society a bridge between our two nations. Carrying on the traditions established by our former presidents and members, I am determined to make my utmost efforts to meet your expectations. I would like to ask all of you for your continued support and cooperation.

### 2007 Annual General Meeting

JASO held its annual directors & general meetings and reception at the Rihga Royal Hotel on July 20. After reports were given on finances and activities in 2006, the directors and officers were chosen, and activities and budgets for 2007 were proposed and approved. Mr. Toichi Takenaka, the outgoing president of JASO, was elected as an honorary member, and Mr. Masayuki Matsushita was chosen as the new president. At the reception, President Matsushita, Consul General Daniel Russel and Osaka Mayor Seki gave speeches, and Ambassador Amae proposed a toast. The piano trio Arietta set the party alight with an elegant performance, and the participants enjoyed some good conversation.



### Officers and Directors of JASO

#### President

Masayuki Matsushita

#### Senior Vice President

Katsuhisa Ezaki

#### Vice Presidents

Julian F. Burt

Ida E. Heckenbach

Shingo Torii

#### Treasurers

Kanji Miyamoto

Masao Takagi

#### Secretary

Katsuya Fukunaga

#### Directors

Hisashi Furuichi

Daisuke Hatakake

Masuo Hosokawa

Kouichi Ikeda

Katsuo Inabata

Noriyuki Inoue

Eikichi Itoh

Michio Izuma

Hirohide Kamikawa

Tetsuo Kawakami

Kanji Kitamura

Kazusue Konoike

Teruhiko Mori

Hitoshi Murakami

Teiichi Nishimura

Takeo Obayashi

Naotaka Saeki

Nobuo Sasuga

Genshitsu Sen

Hirofumi Shibano

Minoru Shibata

Toshiharu Shibata

Kunio Takeda

Toichi Takenaka

Hideo Tashima

Kenji Tatsuma

Takayuki Tsukuda

Hidesuke Ueyama

Kazuyoshi Zenitaka

### Upcoming Events

October 27, 2007 (Sat)

Autumn Day Trip to Tamba-Sasayama  
& Ikuno Silver Mine

November 15, 2007 (Thu)

Thanksgiving Party at NY1



### New Exective Office

Our executive office has moved to:

1006 Kadoma, Osaka, 571-8501, Japan

TEL : 06-6908-5622

FAX : 06-6906-1794

E-mail : jaso@gg.jp.panasonic.com

Secretary General : Masayuki Kusumoto

Deputy Secretary General : Sumihiro Shigematsu

Administrator : Sanae Takayama



## Evening at Japan-America Society of Kobe

Some members from the Japan-America Societies of Kobe and Kyoto joined us at the Lunch Lecture with Bobby Valentine on May 9. Later on May 12, the Japan-America Society of Kobe invited us to their "Kobe Festival U.S. Army Band Thank You Party". Mr. Shigematsu of the current JASO office and Suga of the then JASO office attended the party. JASK invites the army band from U.S. Camp Zama every year to join the Kobe Festival Parade and it was a party for thanking them. More than 90 people including the band members in army uniform and the Society members gathered at Kobe Club and the party began with President Kiran Sethi's greetings. Reflecting Mr. Sethi's effort to rejuvenate the Society's activities, the party was hosted by the members of the Kobe Junior Chamber, creating a different atmosphere from our events. The party reached its climax with the Jazz performance of six selected players and ended with the closing speech by Consul General Russel. We hope this will lead to more communication and collaboration among Japan-America Societies. (Junko Suga / Former JASO Office)



from left  
Ms. Nomura,  
Japan-America Society of Kobe  
Mr. Gillies,  
Army Band Commanding Officer  
Mr. Hayakawa, USFJ

## Member's Column



Robert D. Eldridge  
(Kawanishi)

This June, former Prime Minister Miyazawa Kiichi, passed away at the age of 87. Earlier this year, I had had the pleasure of completing a translation of his memoirs, who, as readers will know, served from 1991 to 1993. The memoirs, entitled Tokyo-Washington no Mitsudan, or Secret Talks between Washington and Tokyo, were from an earlier time in his life, and thus I gave the English-language version of the book the subtitle, The Memoirs of Miyazawa Kiichi, 1949-1954, when I published it through Lexington Books in the United States, as part of its Modern Japan Series this past February. Through the translation, researching about him, and in the course of several interviews, I came to have a deep appreciation and respect for his life and work. His involvement with U.S.-Japan relations began in the late 1930s, when he participated in the Japan-America Student Association's gathering on the U.S. West Coast in 1939, and has continued ever since. He served in numerous official positions in the government, including foreign minister, where he provided good judgment, balanced perspectives, and thoughtful guidance. He is a true statesman. We should be grateful to him that Japan, and U.S.-Japan relations for that matter, had such a person at the helm for so long. The people making up the Osaka America-Japan Society, likewise, have come to be involved in bilateral relationship through different experiences, but I am sure you are all involved in your own way to deepening and expanding it. I look forward to seeing you more in the future.

## Miyazawa Kiichi and U.S.-Japan Relations

This June, former Prime Minister Miyazawa Kiichi, passed away at the age of 87. Earlier this year, I had had the pleasure of completing a translation of his memoirs, who, as readers will know, served from 1991 to 1993. The memoirs, entitled Tokyo-Washington no Mitsudan, or Secret Talks between Washington and Tokyo, were from an earlier time in his life, and thus I gave the English-language version of the book the subtitle, The Memoirs of Miyazawa Kiichi, 1949-1954, when I published it through Lexington Books in the United States, as part of its Modern Japan Series this past February. Through the translation, researching about him, and in the course of several interviews, I came to have a deep appreciation and respect for his life and work. His involvement with U.S.-Japan relations began in the late 1930s, when he participated in the Japan-America Student Association's gathering on the U.S. West Coast in 1939, and has continued ever since. He served in numerous official positions in the government, including foreign minister, where he provided good judgment, balanced perspectives, and thoughtful guidance. He is a true statesman. We should be grateful to him that Japan, and U.S.-Japan relations for that matter, had such a person at the helm for so long. The people making up the Osaka America-Japan Society, likewise, have come to be involved in bilateral relationship through different experiences, but I am sure you are all involved in your own way to deepening and expanding it. I look forward to seeing you more in the future.



Kazuko Inomata  
(Osaka)

## JASO, Where My Dreams Come True

15 years ago, I attended JASO's event for the first time. It was a welcome party for the members of the Japan-America Society of Hawaii when they visited Osaka. During the party, I had a small talk with Mr. Kunio Honda and Ms. Tatsuko Hino, members of the Hawaii chapter. Three months later, I had a sudden call from them, saying, "Would you like to teach cloisonné at the University of Hawaii?" Since then, with the support from them, I started to visit and teach there twice a year. I have liked speaking English since my youth and

wanted to get a job related to English, but somehow I became a cloisonné artist and have been so for more than forty years. Once my friend told me, "If you keep doing two things, English and cloisonné, you may end up with one thing in the future." Her words have turned to reality. Before visiting Hawaii, I did not know that Japanese cloisonné work is more highly recognized in other countries than in my own country, Japan. At the 2005 New Year's Reception, I won two air line tickets to Hawaii. I gave them to my brother and his wife, as I thought it would be better for them to use instead of using them myself. For me, JASO is like a window of opportunity where suddenly, and unexpectedly, something good can pass through from another world.

## Charity Raffle & Bingo Day

It was our memorable 30th Anniversary Raffle and Bingo, and the roomful of ladies perked their ears and stared at the Bingo cards as the number was called. The tables in front of the stage were lined with attractive prizes of potted flowers, boxed sweets, bags of goodies donated by our long time friends and companies in and out of Kansai. Imagine how thrilling and exciting it was as our elegant ladies jumped up and down like young girls when Bingo hit. Raffle drawings followed, for prizes like pearls, dinner tickets, hotel stays...with a climax of the grand prize of a Pair Business Air Tickets to New York. This annual Raffle and Bingo event is the biggest fund raiser of Japan America Women of Kansai. Since our foundation in 1977, JASO has been our biggest supporter of JAWK activities, especially for this Raffle & Bingo event as JASO prints the Raffle tickets all ready to sell. After thirty years we are proud to announce that the accumulation of our donations in scholarship assistance, welfare donations to agencies and to disaster areas has reached ¥100,000,000 mark. Today we are simply gratified to know that a small seed given to us from the Ladies Group of JASO led us to our charity endeavors while enjoying and cherishing our cross-cultural friendship, and has grown and blossomed into lovely flowers like those decorated the stage on Bingo Day. (Setsuko Shindo / Japan America Women of Kansai)



## Promoting art & culture in the local community

The Institute of Eco-Regional Development is a registered NPO. It is a "think and action tank," working for the creation of the region's future prosperity. Through contacts with the New York Symphonic Ensemble (NYSE) 5 years ago, we began collaboration on events centering on musicians from the Metropolitan Opera and local choirs in Nara. In the first year, the "Matsubokkuri Nara-Machi" youth choir took part in a joint concert with the NYSE and the young people in the choir sent us a letter filled with messages saying, "It was an experience of a lifetime." Inspired by this, we have had collaboration between NYSE and Nara's local choirs every summer since 2003. This year, to commemorate the 60th anniversary of the incorporation of Ikaruga Town, Vivaldi's Gloria was performed at the Ikaruga Hall on July 18. Responding to the great applause, a rendition of "A Thousand Winds," especially arranged for this event brought the curtain down. We are very pleased that this collaboration has gradually grown to become one of Nara's Big 3 Summer Events, the other two being the Tokae Festival and the Basara Festival, and that it is also boosting a sense of community solidarity with the support of many volunteers. (Kinshiro Narita / Institute of Eco-Regional Development)



## Thinking aloud...

In July, I began my two-year term as President of the Japan-America Society of Osaka. This is the first time for me to write "Thinking aloud...", so I would like to tell you a little about my ties with America. I have lived in the U.S. on two separate occasions, from 1968 to 1972 and from 1976 to 1978. During my six years there, I spent one year studying at the Wharton School of the University of Pennsylvania, two years as an overseas trainee of Matsushita Electric Industrial, a year working for 3M Company, and two years working for Matsushita Electric Corporation of America. And while in the U.S., I lived in seven different places. New York, Philadelphia, Chicago, Minneapolis, Albany, Richmond, and New Jersey, and got driving licenses in four states. Making the most of being a bachelor, I devoted all of my days off to traveling. I have fond memories of driving all across the U.S., singing the praises of



youth. Though it was a time when we had to tighten our belts, with the dollar the equivalent of 360 yen, spending this sensitive period of my life in a country filled with so much energy has had a great influence on me. In taking up the position of President of JASO, I wish to express my gratitude to the U.S. where I spent so many days in my youth. With the kind support of all of you, I hope to be able to assist in furthering good relations between the U.S. and Osaka during the next two years.

## ◆New members◆

### Corporate Members

Asahi Corporation  
Asahi Kogyosha Co., Ltd. Osaka Branch  
Bunka Shutter Co., Ltd.  
Choyo Electric Co., Ltd.  
Daiko Advertising Inc.  
Hyogo Kiko Co., Ltd.  
K.K. Nikko Sash Seisakusho, Osaka  
Kurihara Kogyo Co., Ltd. Osaka Main Office  
Matsushita Electric Works, Ltd.  
Nipporikako Co., Ltd.  
Nissin Electric Co., Ltd.

Ony Kobo Co., Ltd.  
Sanki Engineering Co., Ltd. Kansai Branch  
Sanpo Electrical and Mechanical Engineering Corporation  
Sanwa Shutter Corporation  
Shinko Industries Ltd.  
Shinryo Corporation Osaka Branch  
Toshiba Elevator and Building Systems Corporation  
Tostem Suzuki Shutter MFM Co., Ltd., Osaka  
Yanmar Energy System Co., Ltd. Osaka Office  
YKK AP Inc.

### Individual Members

Atsushi Kobayashi (Osaka) Tatsuhiro Sadakari (Itami) Toru Yokoyama (Ashiya)  
Eisuke Matsuo (Izumisano) Isao Yabushita (Osaka) Shogo Yoshida (Osaka)  
Mariko Matsuoka (Ashiya) Jiro Yamashita (Nara)

**Notes** The executive office of JASO has changed as of July 20, 2007. We wish to extend our sincere thanks to the outgoing executive office people for their great support in preparing this newsletter. And we are also very grateful to have received many applications for the Osaka Yodo River Fireworks Festival, as it was the first event since the executive office change. We will do our best and your continued support will be greatly appreciated. We look forward to seeing you at our future events!